

国語科学習指導案

- 1 実施日時 平成18年10月24日(火)6校時
- 2 実施クラス 岩手県立福岡高等学校 普通科文系2年B組(男子15名 女子24名)
- 3 授業者 教諭 小林規井子
- 4 教科名 現代文
- 5 単元名 評論 「科学者とは何か」村上陽一郎
- 6 教材名 探求現代文 桐原書店
- 7 単元の目標 現代社会における科学のあり方について、筆者の主張を理解することができる。
- 8 単元の指導計画

「科学者とは何か」

- 1 時間目 現代社会の問題を話題に出しながら、本教材を通読し、おおよその内容を把握する。全文を通じて語句の意味の確認。第1段落の内容理解。
 - 2 時間目 第2・3段落を接続詞・副詞の使い方注意到し、文章の展開を意識しながら内容を理解する。第4段落の形式段落1段落までの読解。
 - 3 時間目 (本時) 第4段落の具体例を使いながら、筆者の提言を推測する。
 - 4 時間目 第5段落における筆者の主張を読みとり、自分の意見を発表する。
- 「コペルニクスと神秘思想」
- 4時間扱いで、歴史的背景をふまえ、科学のあり方について読解を深める。

9 教材観

2年生として半ばを迎え、小論文指導や模擬試験などで、評論文を読む機会は増えてきている。今回の教材は、小論文指導でもよく取り上げられる環境問題についての提言があり、飢餓に苦しむ母子への缶ミルク援助の悲劇など、具体性を持っているという特徴があることから、評論を身近なものにする事のできる教材である。

10 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
現代社会における科学について、身近なものとして興味を持つ。	接続詞に注意しながら、評論文としての展開を意識し、事例から筆者の述べたいことを読みとることができる。	環境問題や途上国における食料不足の問題について基礎的な知識を把握している。

11 本時の目標 本文の具体例を理解し、筆者の主張したいことを読みとる。

12 指導計画

時間	指導内容	学習活動	評価方法
導入 10分	前時の内容確認。	形式段落1段落までの内容や感想を発表させる。	
展開 30分	事例が悲劇に終わった原因を推測し、何を示唆するか考えさせる。		
	悲劇の原因を、経済面・衛生面と整理して考えさせる。	本文から抜き出し、簡潔な表現でプリントに記入する。	一人ひとりが意見を持ち、プリントに記入しているか。【観察・発言】
	「缶ミルクキャンペーン」に携わったそれぞれの人の立場を理解させる。	アメリカ国民・途上国民の置かれている状況を前提に想像する。	理由を考えた上で意見を持っているか。【発言】
	アメリカ国民の考える常識を推測させる。	途上国民の常識とのギャップを考える。	本文から予想できるか。【発言】
	悲劇の原因を考えさせる。	本文中から抜き出す。	読み取る事ができるか。【観察・発言】
	筆者の主張を自分の言葉に置き換えさせる。	内容を読みとり、学問系列から選ぶ。	思考力と抽象化する力があるか。【グループ活動・発言】
まとめ 5分	筆者の主張を考えさせる。	筆者の主張をまとめる。	自分の知識に基づき考察できているか。【観察】